

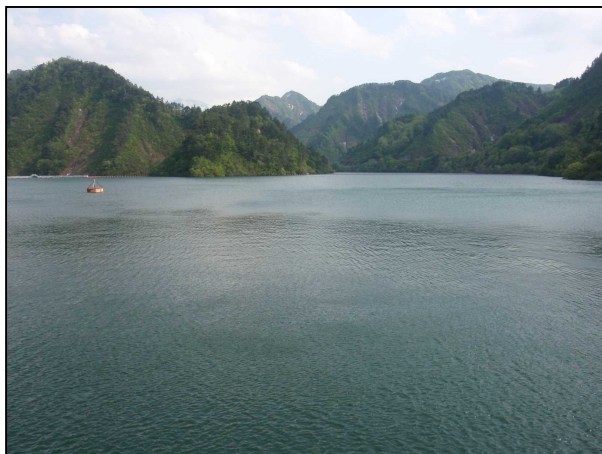
洪水期に向けて大石ダム貯水位低下を開始します。

大石ダムでは、洪水に備えて、ダム貯水池（おおいし湖）の水位を5月24日から6月15日にかけて、約183mから155mまで約28m低下させます。

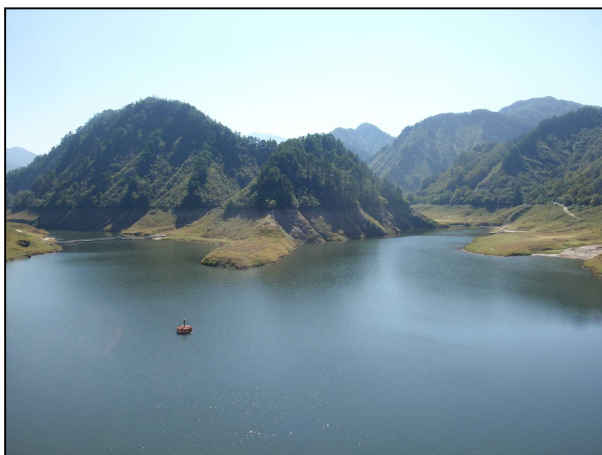
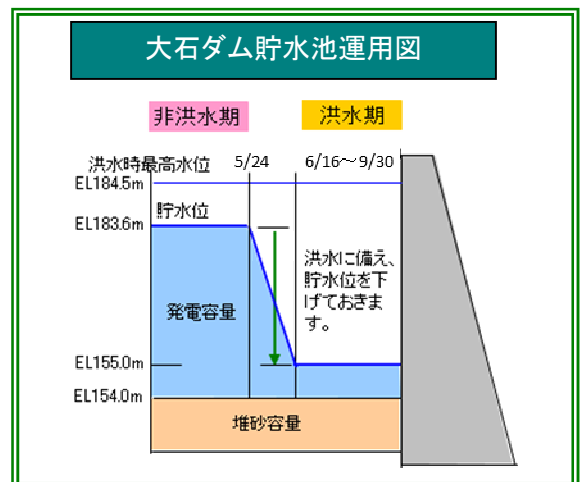
なお、例年6月1日から水位を低下させていますが、昨年度から引き続き、大石川の環境改善を図る取組みとして5月24日から行うものです。

6月16日から9月30日までは、梅雨や台風などによる洪水が起こりやすい期間（洪水期）としています。大石ダムでは、洪水が起こった場合に上流から流れ込んでくる水を低減して放流する事で、下流の被害を軽減しています。

その洪水を貯め込むための容量を確保するため、前もって貯水位の低下するものです。貯水位を低下させる事により、新潟県庁約94杯分の容量（洪水調節容量）を確保します。



貯水位を下げる前の おおいし湖



貯水位を下げた おおいし湖



ダム放流時の様子

同時発表記者クラブ

新潟日報社（村上支局）
村上新聞社
いわふね新聞社

問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

大石ダム管理支所

支所長 湊木 秀二

専門官 尾近 博

TEL：0254-64-2251(代)